

平成 27 年 7 月 21 日

報道機関 各位

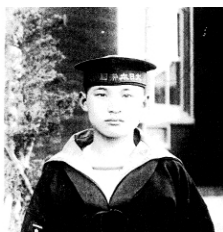
国立市役所市長室広報担当

沖縄水上特攻からの生還
-戦艦「大和」の最後を見た元海軍特別年少兵の証言-
「戦争体験を聞くとつどい」を開催 (入場無料)

「戦争で戦う」ということの真の意味を共に考えてみませんか

米軍から「海の狼」と恐れられ、数多の海戦に参加しながら、終戦まで無傷で生き残った駆逐艦「雪風」^{ゆきかぜ}。15 歳で海軍特別年少兵に志願し、この奇跡の駆逐艦と運命を共にした西崎信夫氏^{にしぎきのぶお}が、戦艦「大和」が撃沈された沖縄水上特攻の真実を中心に語ります。

つきましては、貴媒体への告知掲載および取材方よろしくお願いいたします。



▲15 歳のころ
の西崎信夫氏

【語り部・西崎信夫氏プロフィール】

昭和 2 年、三重県生まれ。昭和 17 年 9 月、15 歳で海軍特別年少兵として大竹海兵団に入団。昭和 18 年 11 月、駆逐艦「雪風」に、魚雷発射管の射手として配属となり、マリアナ沖海戦、レイテ沖海戦、沖縄水上特攻に参加。戦艦「大和」、「武蔵」の沈没に立ち会い、生存者の救助にあたる。終戦後、海外引揚業務に従事し、その後、戦時賠償艦引渡要員として、中国、ソ連へと赴く。昭和 22 年、復員。

現在、平和祈念展示資料館(新宿)において語り部として活動を行っている。

日 時 8 月 16 日(日)午後 2 時～3 時 30 分(開場：午後 1 時 30 分)

場 所 市民芸術小ホール 地下 1 階スタジオ(富士見台 2-48-1)

定 員 70 名(申込先着順)

申 込 担当係へ電話、またはメール(sec_shichoshitsu@city.kunitachi.tokyo.jp)にてお申し込みください。

お問い合わせ

国立市役所 市長室男女平等・人権・平和担当
TEL：042-576-2111 (内線) 229